

# 令和元年度 工事検査結果について

R2.4

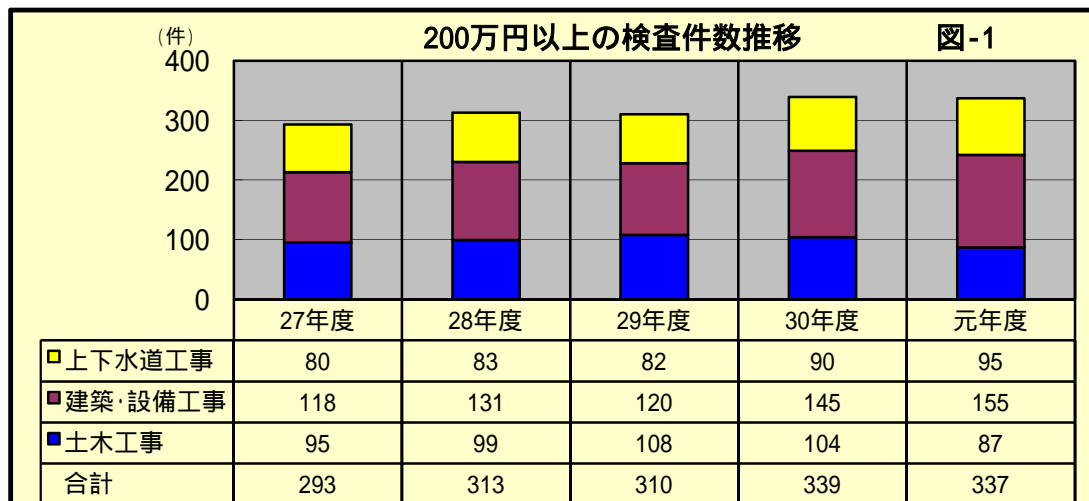
工事検査課

## 1 工事検査件数について

令和元年度に実施した検査件数は564件で、前年度630件に対して66件減少しました。

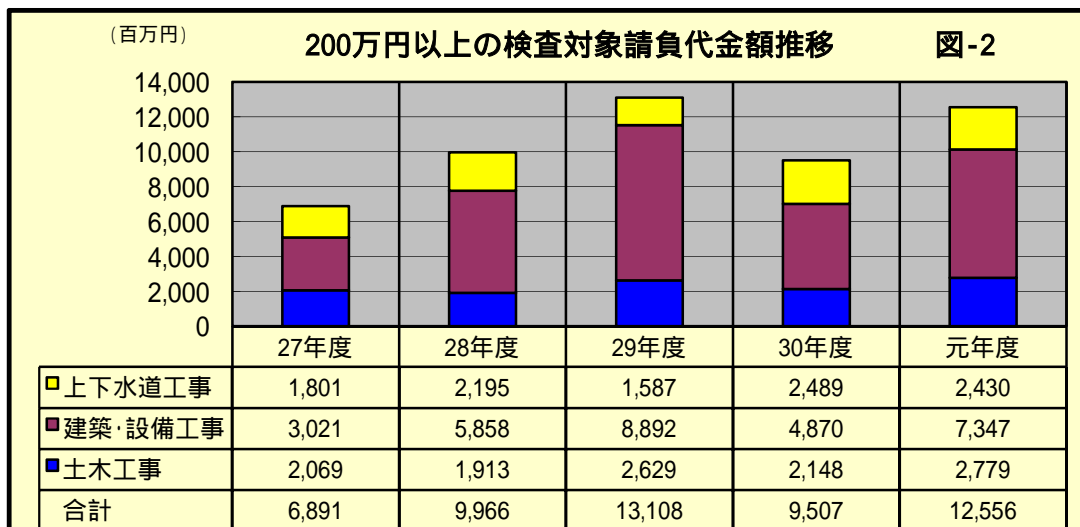
工事検査件数集計表 (単位:件) <表1>

		30年度	元年度	増減
竣工検査	200万円以上(一般)	325	322	-3
	200万円以上(解体)	14	15	1
	小計	339	337	-2
	200万円未満(一般)	12	9	-3
	200万円未満(解体)	21	6	-15
	小計	33	15	-18
計		372	352	-20
出 来 高 検 査		7	5	-2
中 間 検 査		251	207	-44
合 計		630	564	-66



## 2 検査対象請負代金額について

令和元年度の検査対象請負代金額は、125億5600万円で、前年度95億700万円に対して30億4900万円の増額となっています。



### 3 工事成績評定について

表彰選定対象工事(81点以上)について

表彰選定対象の工事は18件で、平成30年度23件に対して5件の減となっています。令和元年度の内訳は、土木工事5件、建築工事6件、設備工事7件です。

表彰選定対象工事(81点以上)過去5年間推移(件)

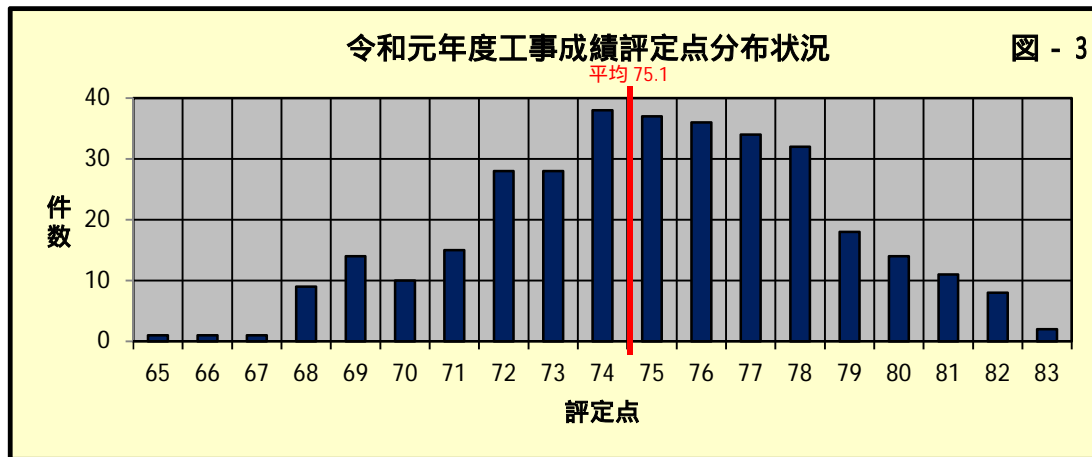
<表2>

表彰選定対象工事		評定点81点以上				
種	別	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
土木工事	土木一式工事(上下水除く)	3	3	3	4	2
	上水道工事	2	3		2	1
	下水道工事			1		1
	舗装工事					1
	造園工事					
建築工事	建築一式工事	3	6	9	10	6
設備工事	管工事		4	2	3	3
	機械器具工事					
	電気(通信)工事	4	6	5	4	4
解体工事	解体工事		2			
計		12	24	20	23	18

工事成績評定点について

平成30年度と同様に、令和元年度もバラツキが大きくなっています。

ア 200万円以上の竣工検査件数337件の工事成績評定点は、最高83点、最低65点で平均75.1点となっており、昨年度の平均点75.6点より0.5点低くなっています。



イ 業種別平均点は、最高76.6点の舗装工事、最低72.9点の機械器具設置工事となっています。

